

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連	良く なっている やや良く なっている	通信会社（営業担当）	来客数の動き	・新商品目的でなくても、値下がりがした商品を求めて来店する客が増加した。
		一般小売店〔書籍〕（従業員）	販売量の動き	・この時期は例年セール月だが、動きがいつも以上に良く、通常品も順調に動いている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・1人当たりの買上点数が増加している。プールのトマトやヨーグルトなどのダイエットに関連した商材の売行きはよい。必要なもの、話題になっている商材に関しては以前より多めに買っている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・エコカー補助金などの影響で、受注が好調である。
		乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・エコカー補助金の復活と新型ハイブリッド車の関心の高さにより、順調な受注状況で推移している。足元の新車販売の状況はサプライチェーンの正常化により前年よりかなり増加傾向にあり収益も追隨している。
		乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・エコカー補助金、エコカー減税効果もあり、車の販売台数は前年同月比15%の増加、注文台数は同50%の増加となっている。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・雪による影響があったものの、国内旅行の宿泊者数やレストラン予約者数の動向は回復傾向にある。
		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・単価は相変わらず低い状況であるが、来客数は増加している。また、相見積が多く厳しい状況には変わりはないものの、団体相談件数をみると見積、提案が増加している。
		タクシー運転手	来客数の動き	・例年になく大雪となり、気温が低く、雪の日が多かったため、タクシー台数が多いにもかかわらず、売上は好調であった。
		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・復興支援・住宅エコポイントのためか、住宅用地の動きがあるので、それに伴い建築の動きもある。
変わらない		商店街（代表者）	来客数の動き	・例年より寒い日が多く雪も多いため、来客数が少なく、春物衣料の動きが遅い。
		商店街（代表者）	競争相手の様子	・例年なら春物衣料などの展開が始まるが、今年はまだ冬物パーゲン品をそろえている店舗が多い。安い商品しか買わない、高額品は急いでは買わない、そんな風潮が顕著である。
		一般小売店〔事務用品〕（営業担当）	お客様の様子	・例年と変わらない売上をあげているが、単価は下がっている。利益が薄くなっているため、量をさばかないと前年並みの売上にならない。客の動きに活発さは見られない。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・天候の影響による来客数に大きな変化はないが、買い控え傾向がある。端境期の販売としては例年より早く春物の入荷などもあったが、気温の低下による購買待ち状態にある。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・前年同月と比較すると、来客数が減少しており、販売量も冬物セール品、春物の新製品ともに売れている点数が少ない状態が続いている。
		百貨店（売場担当）	お客様の様子	・上旬は冬型の天候が続き、積雪も多かったため、生活にも影響があり、大きな妨げとなった。さらにインフルエンザ患者が増え、子どもや年配者は外出を控えていた。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・前月と同様、積雪の影響で長靴関連の売上が前年同月比150%、インフルエンザの影響でマスクを中心に医療関連商品が同120%、野菜の相場高で同115%、バレンタインデーの影響で、菓子関連が同106%となった。一方、衣料品ではレディース、メンズ合わせて、同90%となり、不要不急の商品は相変わらず売れていない。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・客の流れに変化は見られない。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・節分やバレンタインデーなどイベント商戦は前年より売上は良かったが、平常時の売上は節約傾向がみられ前年を上回らなかった。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・来客数はほぼ前年と同様だが、買上点数が減少しているので客単価が低下している。消費者は不要な商品を買ってない。
		スーパー（総務担当）	お客様の様子	・客数、売上とも前年を上回って推移しているが、果実、菓子、飲料、ビールといったし好品の不振が続いている。
		コンビニ（店舗管理）	お客様の様子	・深夜帯の動きが鈍くなってきたものの、来客数・客単価ともに変化が見られない。

衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・不順な天候に売上が左右され、来客数も少なく苦戦が続いている。	
衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・もうすぐ雪の季節は終わるであろうが、雪があっても、なくなっても、町のなかは元気がなく活気がない。賑わいもなく、静かな無味乾燥な雰囲気にも包まれている。	
衣料品専門店（総括）	お客様の様子	・これまでと変わらず、消費者は必要な物以外を購入しない。	
家電量販店（経営者）	販売量の動き	・価格を下げて以前のように販売数量は増加しない。価値を見出せたものについては多少高くても販売できている。	
家電量販店（店長）	お客様の様子	・新生活向け家電商品の商品単価が低下している。必要最低限の商品しか購入見込みがない。	
自動車備品販売店（従業員）	お客様の様子	・例年2月は閑散期であるが、来客数は前年同月比で大きく減少している。また、メンテナンス関連も低く推移しており、余計な出費を抑える傾向がある。	
その他専門店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・客は不要不急の商品は買わないし、必要なものでも慎重に動いている。	
一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・雪の影響は多少あったものの、前月と変わることはなく前年並みで推移している。市内の百貨店2店舗がテナントの入れ替えなどでリニューアルオープンしたが話題にもあがらない一方で、郊外のショッピングセンターから低価格ブランドの店舗が撤退したことは話題になる。節約志向には変わらない。	
都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・宿泊部門は好調を維持している。一方、レストラン部門、宴会部門は前年同月比、前月比ともに減少傾向にあり、全体として低調に推移している。	
旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・3月11日までは、マインドに変化は見られない。	
タクシー運転手	販売量の動き	・中旬過ぎまでは大雪の影響で足場が悪かったこともあり非常に忙しかったが、天気が回復した後半は静かになった。	
通信会社（職員）	お客様の様子	・春先に向かって若干でも消費が活発化することを期待していたが、ここにきてガソリン価格が一気に値上がりしたこと、消費の財布のひもも固くなったような気がする。	
通信会社（社員）	お客様の様子	・年度末には通常需要が増えるが、著しい変化は見受けられない。	
通信会社（営業担当）	販売量の動き	・新商品が発売されて、スマートフォンへの買換え需要は伸びているが、販売量はここ2、3か月は横ばい状況である。	
通信会社（役員）	販売量の動き	・インターネット契約の新規獲得を巡り、大手通信事業者が県内営業を一段と積極化させるなど、競争は更に厳しさを増している。来月から新たな料金施策を導入するが、効果が出るか否かはもうしばらく様子を見る必要がある。	
その他レジャー施設（職員）	お客様の様子	・3月から始まる新しい教室への申込数をみると、良いものと悪いものの両極端になっている。この現象は、子ども向け教室もおとな向け教室も同じである。	
美容室（経営者）	来客数の動き	・降雪の影響で客足が遠のいているが、大きな変動は感じられない。	
住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・客の購買意欲が低下していることは無いが、契約締結までに時間を要するようになった。	
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・クリアランスセールが一段落した。また、毎週末の大雪寒波で来街者が極端に少なかった。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・低温と大雪で商店街への入出が減少し、雪関連の商品を除いて売上も減少している。
	一般小売店〔精肉〕（店長）	来客数の動き	・断続的な大雪が来客数に影響した。
	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・20日ごろまでは想定外の積雪により、来客数が少なかった。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・客単価は微増であるが、来客数は3、4ポイント低下している。
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・週末にかけての大雪で来客数が減少し、春物の動きが弱い。
	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・前年末以降、高額車の引合い、成約が回復傾向とみていたが、今月の来客数は極端に落ちていないものの、売上や引き合いを見ると勢いが衰えている。豪雪ばかりが原因とは思えない。

	その他専門店 〔医薬品〕（総務担当）	来客数の動き	・大雪の影響で来客数が減少している。これまで風邪薬と一緒に購入されていた栄養ドリンクの販売数量が減少している。	
	高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・前年6月から伸びていた売上も、寒さによる出控えもあるのか久しぶりに低迷している。特に昼の個人客の動きが悪かった。	
	一般レストラン（店長）	来客数の動き	・来客数がかなり減少している。	
	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・12月以降でみると、入込客数は前年同月比10%程度減少している。	
	観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・総売上は前年同月比98%、宿泊人数は同105%、宿泊単価は同93%、14名以下の個人客が同113%、15名以上の団体客が同98%であった。全体的に宿泊単価の伸び悩みにより前年売上を下回った。	
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・前年同月と比較すると、大雪によるキャンセルの影響もあり、堅調に推移していた個人客が前年実績を下回った。また、団体や募集ツアーは2けた近い利用減となった。全体として、来客数が低下傾向にある。	
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・度重なる降雪の影響で各展示場の来場者が極端に減少した。これによって情報量も大幅に減少している。	
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・販売量は前年同月比で減少している。3月の販売予定額も積みあがっておらず、今後も明るい兆しが無い。	
悪くなっている	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・20年ぶりの大雪、雪害による来店客の減少がみられた。また、買回り品では、雪関連の長靴やスコップなど百貨店では取扱いの少ない、必要最低限の必需品に購買が集中したようである。	
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・上旬に近隣で同業態の店舗が開店したため、来客数は前年同月比50人から60人の減少となった。	
	コンビニ（店長）	来客数の動き	・除雪状況は非常に良かったものの、大雪の影響で来客数が著しく減少した。過去の豪雪時に匹敵する来客数であった。食料品のうち、日持ちのしない弁当やおにぎり類の売上が芳しくなかった。	
	スナック（経営者）	来客数の動き	・人の出入りが少なく、開店以来最低であった前年8月の売上と同水準となった。中旬過ぎまで雪が多かったこと、また、客の会社がタイの洪水の影響で決算が赤字となったことなどが要因である。	
企業動向関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	繊維工業（経営者）	取引先の様子	・非衣料分野では、売上は微増だが収益面では厳しい。一方、衣料分野では、新しい商品に前向きな商談がきている。
	変わらない	食料品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・販売量、販売単価共に前年秋から前年同月比105%～108%で推移している。前年同月比では良くなっているが、2～3か月前との比較では変化は感じられない。
		プラスチック製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・産業資材は低迷しているものの、住宅関連が少し動きだしている。
		一般機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・欧州の信用不安が長引いており、欧州市場が安定しない。また国内市場も円高で設備投資意欲が出ていない。
		電気機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・順調に売上が伸びているのはスマートフォン市場だけで、パソコン、デジタル家電分野は落ち込みが激しい。全体的には売上は横ばいである。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・製造業や百貨店の販売の動きをみると、引き続き低下傾向に縮小が見られ、ほぼ現状の水準を維持している。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・円高の一服感、株価の上昇、米国経済の3%プラス成長予測、欧州の信用不安の安定化などから特に大手メーカーに安心感が広がっている。
		不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・少しずつ売りの話は増加しているが、まだまだ決まるものが少ない。
		新聞販売店〔広告〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・1月のチラシ出稿量は前年同月比でマイナスだったが、2月はそのマイナス分を取り戻せる出稿量になってきた。
やや悪くなっている	司法書士	取引先の様子	・引き続き事業縮小、廃止の相談が多い。	
	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・超円高やユーロ安および欧州市場の景気悪化の影響を受け、スポーツ分野の高級品を中心に受注が急激に減少した。前年同月比でも大幅に減少している。	

	精密機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・材料や部品サプライヤーの受注状況は、ここへ来てさらに量的に減少しているという話を耳にするようになっている。	
	輸送業（配車担当）	取引先の様子	・デフレ状況のなかで、客の購買意欲が低下し、これに伴い物流量が減少している。中東の政情不安により原油価格が高騰し、燃料費などのコストが高くなっている。	
	税理士（所長）	取引先の様子	・12月決算の中小工務店などでは、非常に厳しい経営環境にある。中小事業者の場合、安定した受注がないと経営が厳しいが、復興支援・住宅エコポイントなどが本格的になるにはまだ時間がかかるようである。全体的には様子見の状況が強まっている。	
	悪くなっている	建設業（経営者）	取引先の様子	・2、3年前から支払いが滞っていた個人の建設業者にようやく連絡が取れたが、社長は前年末に亡くなったと言う。貸倒損失を計上したが、その後も老舗の設備業者が自己破産するなど、建設業の経営環境は厳しさを増している。
		建設業（総務担当）	それ以外	・東日本大震災関連の復興工事の影響による鉄筋、型枠、内装工事の職人不足で単価上昇が続いているため、工事原価が上昇し、採算の悪化した工事が発生している。
雇用関連	良くなっている			
	やや良くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は増加傾向が続いている。さらに新規求職者数は減少傾向で推移している。
	変わらない	人材派遣会社（役員）	採用者数の動き	・業務量が少ない季節だけに人材需要は全く閉ざされているが、4月からの案件が少し出始めている。
		人材派遣会社（社員）	採用者数の動き	・派遣求人は前年同月比で見ると微増で推移しているが、採用者数は求職者の派遣離れや求人に対する雇用側の選別が厳しく横ばい状態である。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年同月比で横ばいとなっている。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・紹介の求人案件が増えてこない。一方、求職者の応募も少ない。求人の要求レベルは高く、簡単にマッチングしない状況が続いている。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・求人数については大きな変化が見られないが、厳選して採用する態度が見受けられ厳しい状況が続いている。
	やや悪くなっている	求人情報誌制作会社（編集者）	求人数の動き	・求人数が微減となった。
	悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・求人広告の売上は、前年同月比で4割減少した。